

## 21. 整形外科(選択)

### 1. 一般目標(GIO)

将来の専門性にかかわらず、整形外科に必要な基本的診療能力を身につけ、医療者に求められる人格を涵養することを目的とする。

### 2. 具体的目標(SBOs)

#### (1) 行動目標(医療者として必要な基本姿勢・態度)

##### 1) 患者—医師関係

- ① 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- ② 医師、患者・家族がともに納得できる医療を行なうためのインフォームド・コンセントが実施できる。
- ③ 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。

##### 2) チーム医療

- ① 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。
- ② 上級および同僚医師や他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。
- ③ 関係機関や諸団体の担当者とコミュニケーションがとれる。

##### 3) 問題対応能力

- ① 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる。
- ② 自己評価および第三者により評価を踏まえた問題対応能力の改善ができる。
- ③ 臨床研究や治験の意義を理解し、研究や学会活動に関心をもつ。
- ④ 自己管理能力を身につけ、生涯にわたり基本的臨床能力の向上に努める。

##### 4) 症例呈示

- ① 症例呈示と討論ができる。

#### (2) 経験目標

##### 1) 医療面接

- ① 医療面接におけるコミュニケーションの持つ意義を理解し、コミュニケーション・スキルを身につけ、患者の受診動機、受療行動を把握できる。
- ② 患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴、系統的レビュー)の聴取と記録ができる。

##### 2) 基本的な身体診察法

- ① 全身の観察(バイタルサインと精神状態の把握、皮膚や表在リンパ節の診察を含む)ができ、記載ができる。
- ② 骨・関節・筋肉系の診察ができ、記載できる。
- ③ 神経学診察ができ、記載ができる。

##### 3) 基本的な臨床検査

- ① 病態と臨床経過を把握し、医療面接と身体診察から得られた情報をもとに必要な検査を自ら実施し、結果を解釈できる。
- ② 単純X線、動態撮影、MRI、CT等の検査の位置づけとそれぞれの画像診断ができる。

#### 4) 基本的手技

- ① 圧迫止血法を実施できる。
- ② 包帯法を実施できる。
- ③ 関節穿刺および腰椎穿刺を実施できる。
- ④ 創部消毒とガーゼ交換を実施できる。
- ⑤ 簡単な切開・排膿を実施できる。
- ⑥ 皮膚縫合法を実施できる。

#### 5) 基本的治療法

- ① 療養指導(安静度、体位、食事、入浴、排泄、環境整備を含む)ができる。
- ② 薬物の作用、副作用、相互作用について理解し、薬物治療(抗菌薬、副腎皮質ステロイド薬、解熱薬、麻薬、血液製剤を含む)ができる。
- ③ 基本的な輸液ができる。
- ④ 輸血(成分輸血を含む)による効果と副作用について理解し、輸血が実施できる。

#### 6) 医療記録

- ① 診療録(退院時サマリーを含む)をPOS(problem oriented system)に従って記載し、管理できる。
- ② 処方箋、指示箋を作成し、管理できる。

#### 7) 診療計画

- ① 診療計画(診断、治療、患者・家族への説明を含む)を作成できる。
- ② 診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる。
- ③ QOL(quality of life)を考慮にいれた総合的な管理計画(リハビリテーション、社会復帰、在宅医療、介護を含む)へ参画する。

### (3) 経験すべき症状・病態・疾患

#### 1) 頻度の高い症状

- ① 腰痛、頸部痛
- ② 関節痛
- ③ 歩行障害
- ④ 四肢のしびれ

#### 2) 緊急を要する症状、病態

- ① 外傷(骨折、関節脱臼、腱断裂)

#### 3) 経験が求められる疾患・病態

・運動器(筋骨格)系疾患

- ① 骨折
- ② 脊椎疾患
- ③ 関節・靭帯の損傷および障害
- ④ 骨粗鬆症

### 3. 方略

- (1) 外来における指導医の診察・治療の見学および研修医自身による問診・診察の実践を行い、より適切・正確な問診・診察ができるように実践・フィードバックを繰り返す。

(2)勉強会への参加、発表、およびケースカンファレンスでの症例呈示。

(3)学会参加および学会予演会への参加。

#### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30～	カンファレンス(前日手術・入院症例提示)				
		手術症例検討	長期入院症例 検討	抄読会	感染症例検討
9:00～ 17:00	＊外来見学 問診・診察の実践 ＊病棟回診 処置見学と実践、入院患者診察 ＊手術見学 手術基本手技の実践 ＊救急患者診療 問診・診察の実践				
不定期 午後	＊脊髄造影・ 神経ブロッ ク見学 ＊小児整形外 来見学	＊小児整形外 来見学	＊小児整形外 来見学	＊骨粗鬆症 外来見学	＊小児整形 外来見学 ＊脊柱側弯 症外来見学

#### 4. 評価

(1)形成的評価:カンファレンス等で毎日フィードバックを行う。

(2)総括的評価:PG-EPOCにて評価を行う。